

学校評価表（令和5年度）

2024/3/12

教育目標 知・徳・体の調和のとれた全人教育をすすめる、国際社会で信頼と尊敬を得る人材の育成を目指す。

教育方針 1.深い思索力、旺盛な研究心、高い学力を身につけた、創造的能力を持つ生徒

- 2.礼儀正しき、豊かな情操と高い気品をもつ生徒
- 3.規則を守り、進んで責任を果たし、自他の人格を尊重する生徒
- 4.常に感謝の念を忘れず、進んで社会のために奉仕する生徒
- 5.健康な身体と強固な意志をもち、自らを開発伸展しようとする生徒
- 6.国際的視野に立ち、社会的事象を公正に判断できる生徒

を育てる

経営（評価）項目	短期経営（評価）項目		中間達成度評価	最終達成度評価	備考	学校関係者評価	備考
中高一貫教育のメリットを生かし、最大の教育効果と結果を追求する	1	本校の教育方針、教育目標及び生徒の志望・特性に応じた教育課程を展開する（ 管理職 ）	心身ともに健全な生徒を育む（知・徳・体のバランス）	A	A		○
	2	高大接続改革・大学入試に関する情報を共有し、将来展望につなげる（ 進路指導 ）	変化する入試に対応する教師の教材研究の充実と作問力の向上を図る	B	B		○
	3	生徒の知的好奇心を育て、主体的な学びにつなげる（ 進路指導 ）		A	A		○
	4	生徒の家庭学習時間の増加と内容を充実させる（ 進路指導 ）		B	B		○
	5	生徒の教科学力を向上させ一人一人の進路実現を図る（ 進路指導 ）	東京及び京都大学合格者複数	B	B		○
			難関大学合格者（旧帝大レベル）10名	B	B		○
			広島大学合格者30名	B	B		○
			近畿大学入学者在籍の40%	B	B		○
6	近畿大学との中高大連携教育を一層充実させ、キャリア教育を推進する（ 進路指導 ）	近畿大学見学や附属学校教育研究会に協力することで近畿大学学園への帰属意識を高める	B	B		○	
7	附属高・中として「自校学習」を進化させ、帰属意識を高める（ 管理職 ）	学校行事や部活動・生徒会活動のさらなる活性化と充実を図り、生徒の自主性育成につなげる（文武両立・文武一貫）校内の活動や結果を学校全体で共有、母校への誇りの高揚	B	B		○	
8	「道徳」や「総合的な学習の時間」・「総合的な探求の時間」の内容を充実させる（ ICT探究 ）		A	A		○	
目標管理（学校マネジメント）の機能化により、本校教育の質向上を図る	9	授業改善と教師の授業力の向上を図り、横断的な学習を推進する（ 教務 ）	学習指導要領に即した実践を的確に行う	A	A		○
	10	教師の学習・進路指導力を向上させる（研修の促進）（ 進路指導 ）		B	B		○
働き方改革を推進し、安定した学校体制と教育効果のあがる機能的な学校組織を確立する	11	行政機関・近畿大学との連携により働き方改革を推進し、効果のあがる学校システムの改善を行う（ 管理職 ）		B	B		○
広報活動のさらなる強化を行い、優秀な受験者、入学者を増加させる	12	募集イベント・コンテンツのアップデートと小学校・中学校・塾訪問を通じて本校のPRを行う（ 企画広報 ）		A	A		○
危機管理意識の高揚、情報を共有して適切な危機管理を行う	13	安全・安心かつ快適な学校生活を通して、本校生徒としての自信と誇りをもたせる（ 生徒指導 ）	高い志と学力向上	B	B		○
	14	豊かな人間性をはぐくみ、礼儀正しい行動をさせながら、自主性、自律心を培う（ 生徒指導 ）	挨拶の励行	B	B		○
	15	思いやりや感謝の心を大切にし、周りの人への配慮をさせる（ 生徒指導 ）	校訓を活かした心の教育・いじめにつながる言動の抑制・コロナ対応	B	B		○
	16	校則、社会のルール・マナーを遵守させ、規範意識をより高める（ 生徒指導 ）	問題行動の予防と早期発見、迅速で正確な事実確認と記録、事案の共有、早期対応。再発防止	B	B		○
	17	特別支援教育の推進を組織的に行う（ 生徒指導 ）		B	B		○
	18	携帯電話、SNSなどに関する意識啓発を積極的に生徒、保護者対象に行う（ 生徒指導 ）		B	B		○
丁寧に保護者や地域に対応し、連携を強化する（地域に開かれた学校づくりと地域の活用）	19	地域・国際交流を含めたSDGsやグローバル教育をさらに充実させる（ ICT・探究 ）	SDGsに関連した取り組み（授業・トキメキ探検・学問探究・企業探究）を推進する	B	B		○
教師の計画的な人材育成と校内のICT化をさらに推進	20	アクティブラーニングやICT教育をさらに取り入れた授業を推進する（ ICT・探究 ）	ICT教育や評価の在り方をさらに深めて実践・検証する	B	B		○

学校評価基準

- A：評価目標を十分に達成しており、成果をあげている
 - B：評価目標についてほぼ達成しており、達成に向けて具体的な行動をしている
 - C：評価目標について達成にむけて取り組んでいるが、具体的な行動に至っていない
- C評価の場合は備考欄にコメントを記載する

学校関係者評価基準

- ：評価目標に対してとても適切に評価をしている
 - △：評価目標に対して概ね適切に評価をしている
 - ×：評価目標について全く適切に評価していない
- ×評価の場合は備考欄にコメントを記載する